

令和2年度 人事担当者のための精神・発達障がい者雇用

アドバンス研修事業実例レポート

令和2年度に「人事担当者のための精神・発達障がい者雇用アドバンス研修」を開催し、参加企業に取材を行った結果、当研修を通じて伝えたノウハウを生かした精神・発達障がい者への職場定着支援を行っている事業者について以下の通り実例を把握した。

1 例目：株式会社ダイキンサンライズ摂津（特例子会社）

業種：製造業

参加者：企画部総務課 雇用管理担当者

受講コース：アドバンス研修（中級コース）

<受講理由>

当事業所に入社して3年になる。特例子会社で勤務するにあたり、障がいのある方とのかかわり方やサポートの仕方を学び、他の企業はどのようにされているのかを知るために受講した。

<受講后感想>

1日目の基礎知識研修の先進企業による講義では、「休職から復職された時の約束事」が参考になった。また、グループワークでは他企業の取組みを知ることが出来、大変参考になった。

2日目の職場体験研修先では、雇用管理の部分で、障がいのある方に合わせて、都度就業規則を柔軟に変更して運用されていた。当社では現状のルールを容易に変更するわけにはいかないが、勤務する上で必要な配慮等について、障がいのある方と一緒に考え、仕事に取り組む様にしている。

<職場定着への取組み>

現在、障がい者手帳を持っている方180名が勤務している。中には仕事を続けるのが困難になる人もいる。そういう人が就業規則を変更せずに、フルタイムで仕事を続けるには、どうしたら良いかを本人と一緒に考える様にしている。

今後、休職者の復職時の面談に同席する機会があると思うが、その対応に、今回のアドバンス研修で学んだ内容などを活かしていきたい。

2 例目：SOMPO コミュニケーションズ株式会社

業種：金融保険業（コールセンター業務）

参加者：大阪センター人事管理部門

受講コース：アドバンス研修（中級コース）

<受講理由>

人事総務の仕事を担当しており、障がいのある方も2名勤務している（3月からは1名増員されて3名になる予定）。障がい者雇用の重要性和多様性が望まれる中で、ますます雇用を促進する必要性が高まっている。障がい者を管理する上で、必要なことを学びたいと思い受講した。

<受講后感想>

1日目の基礎知識研修の先進企業による講義では、様々な障がいのある方が勤務されており、自社の障がい者雇用との違いを感じた。

2日目の職場体験研修先では、障がいのある方がたくさん勤務されているのに驚いた。

各々が出来る事を自分のペースでやり、出来る事を増やしていくというスキルアップの方法に感銘を受けた。ここまでと限度を決めないで、個人毎のペースで作業をされていることは素晴らしいと思った。

<職場定着への取組み>

障がいのある方に、やりがいを持って業務に取り組んで頂くために、ある程度の責任のある仕事を任せようとする。

障がいのある方が安心して気持ちよく仕事出来る様に、ピアサポートとして同じ障がいのある先輩社員が、障がい者のある新入社員の世話係を担うなどし、新入社員が職場に馴染めるようにしている。

[考察と課題]

上記の2社の企業の一方は特例子会社で、自社も障がい者雇用先進企業だが、新たに雇用管理の担当となった社員のスキルアップのためにこの講座を受講された。また一方の会社は、健常者の中で少数の障害のある方が勤務されている。職場環境が全く違う両社が同じような悩みを抱えておられる。障がいのある方を特別視せず、どのような配慮をすれば障がいのある方が、長期で勤務できるかを常に模索されている。その答えの糸口を発見できるような研修を今後も開催する必要があると強く感じた。

以 上